

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	盛岡市	担当部局課名	市長公室企画調整課	掲載ＨＰ アドレス	<a href="http://www.city.morioka.iwate.jp/keikaku/sogotekip/lan/034382.html">http://www.city.morioka.iwate.jp/keikaku/sogotekip/lan/034382.html</a>
------	-----	--------	-----------	--------------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		盛岡市人口ビジョン	
2 策定日		平成27年10月30日	
公表日		平成27年12月1日	
3 人口の展望		現状 2014年	目標年 2040年
(1) 人口	298,348	263,672	準拠している推計値等 <input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3) 記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.33	1.75	
(3) 特徴	市民を対象に結婚・出産等に係る意識調査を実施した結果から、市民の希望出生率を1.75と算出。これを2030年に実現するものと仮定。また、ＵＩＪターンに係る意識調査を実施した結果から、20歳から39歳までの若者の社会減の割合を、2020年以降、国立社会保障・人口問題研究所推計の36.5%減となるものと仮定した推計。		
(4) 展望	市民の結婚・出産・子育てや就労の願いに応えると仮定した場合、2040年に26～27万人程度となる。		
4 目指すべき将来の方向		人口対策の基本的視点 (1) 結婚・出産・子育て等に係る市民の願いに応え、出生数を維持・増加させる必要がある。 (2) 盛岡広域圏等への就職の願いに応え、若年・成年（20～39歳）の首都圏等への転出者の減少を図る必要がある。 (3) 本市に「住みたい」「住み続けたい」と思う者の願いに応え、移住・定住者の増加を図る必要がある。	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年10月30日			
公表日	平成27年12月1日			
3 基本目標等	基本目標 1 切れ目のない結婚・出産・子育て支援（戦略 1 結婚の希望に応える支援／戦略 2 安心して子どもを産み育てられる環境整備／戦略 3 ワーク・ライフ・バランスの推進） 基本目標 2 若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出（戦略 4 地域経済の好循環の促進／戦略 5 地域経済を担う人材・企業の育成／戦略 6 地元企業への就職の促進） 基本目標 3 東北の中核都市としての魅力・求心力の向上（戦略 7 盛岡ファン・交流人口の増加／戦略 8 地元への愛着の形成、移住・定住の促進）			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	結婚の希望に応える支援	いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数	-	50組
	安心して子どもを産み育てられる環境整備	保育所待機児童数	9人	0人
	ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	-	120社
	地域経済の好循環の促進	卸・小売の年間販売額	10724億円	11300億円
	地域経済を担う人材・企業の育成	市インキュベーション施設の稼働率	75.90%	75.90%
	地元企業への就職の促進	ジョブカフェいわての利用者数	30080人	31000人
	盛岡ファン・交流人口の増加	宿泊観光客数	98万人回	100万人回
	地元への愛着の形成、移住・定住の促進	ＵＩＪターン相談件数	4件	120件
5 策定までの特徴的な取組	市民を対象とした結婚・出産等に係る意識調査及び高校生・大学生等を対象としたＵＩＪターンに係る意識調査等を独自の調査を実施し、市民ニーズの把握を行った。			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	宮古市	担当部局課名	企画部企画課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/sougousenryaku_2.html">http://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/sougousenryaku_2.html</a>
------	-----	--------	--------	----------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		宮古市人口ビジョン	
2 策定日		平成28年2月9日	
公表日		平成28年2月9日	
3 人口の展望		現状 2014年	目標年 2060年
(1) 人口		56,969人	36,000人
(2) 出生率		1.58	2.07（2040年）
(3) 特徴		2040年までに合計特殊出生率を2.07へと段階的に向上させることを目標とし、2020年には1.74程度、2030年には1.97程度（市民の希望出生率）へ上昇させることを目指します。また、若い世代に魅力的に映るまちづくりや更には住みやすい環境づくりを進めることで他県等への流出を抑制し、更にはU・Iターン就職や移住・定住を促進させることで本市への流入を促していき、2020年までに移動均衡（社会増減ゼロ）させることを目指します。	
(4) 展望		合計特殊出生率を2040年までに2.07へと段階的に向上させ、2020年までに移動均衡させ、2040年に43,000人、2060年に36,000人の人口の確保を目指します。	
4 目指すべき将来の方向		目標：だれもが、いつまでも住み続けたいまち、みやこ Ⅰ．ずっと、住みよいまちまち Ⅱ．いつでも、帰って来られるまち Ⅲ．行ってみて、住んでみたくなるまち	

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年2月9日			
公表日	平成28年2月9日			
3 主な取組内容とそのKPI	○地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する ○子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる ○地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	稼ぐ1次産業、宮古を味わう「食」産業の実現	水産業純生産額（年間）（百万円）	3,356	4,075
	地域資源を活かした水産加工品の製造と企業誘致による製造業の振興	製造業の一人当たりの現金給与総額（万円）	264	279
	人材の確保・育成支援	大学生のインターンシップ参加者数（年間）（人）	—	30
	生活とバランスのとれた労働時間の推進	「いわて子育てにやさしい企業等」認定数（累計）（社）	0	5
	結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略	子育て支援拠点事業年間利用組数（組）	9,072	9,500
	働きながら子育てしやすいまちづくり	待機児童数（人）	27	0
	郷土を愛し、誇りが持てる学び・教育の充実	宮古市への愛着度（%）	71.7	80.0
	地域拠点を中心としたにぎわい創出	中心市街地の新規出店数（累計）（件）	5	10
	安全で快適に暮らせる生活基盤の確保	地域医療に対する市民満足度（点）	38.7	50.0
	森・川・海など地域資源を活かした交流拡大の推進	観光入込客数（年間）（万人）	125	131
	自然・伝統・文化を満喫できる拠点づくりの推進	道の駅・みなとオアシスみやこ、道の駅たろう年間利用者数	274,064	286,000
	U・Iターン者への各種支援の充実	定住・移住ワンストップサービスの利用状況（年間）（人）	—	30
	シティプロモーションの実施	移住者向けホームページのアクセス数（年間）（件）	—	100,000
5 策定までの特徴的な取組	市民推進委員会委員と市策定作業チーム員のグループワークにより課題の抽出や施策の検討を行った。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	大船渡市	担当部局課名	企画政策部企画調整課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.ofunato.iwate.jp/www/contents/1426056771465/index.html">http://www.city.ofunato.iwate.jp/www/contents/1426056771465/index.html</a>
------	------	--------	------------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	大船渡市人口ビジョン		
2 策定日	平成27年10月23日		
公表日	平成27年11月2日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	38,196人	21,802人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3) の記載のとおり )
(2) 出生率	1.41 (2013年)	2.10	
(3) 特徴	合計特殊出生率を平成32 (2020) 年に1.80 (国民希望出生率) まで、さらに、平成37 (2025) 年に2.10 (人口置換水準) までそれぞれ向上させ、それ以降、2.10を維持する。また、社会増減を均衡させ、2060年に22,000人程度の人口を目標とする。		
(4) 展望	地方創生の進展に伴う各種の取組を追い風に合計特殊出生率の向上を図るとともに、東日本大震災の転入増により社会増減が均衡している状態を維持すること目標に、2060年に22,000人程度の人口を維持する。		
4 目指すべき将来の方向	市民をはじめ、産業界、関係行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等あらゆる主体と連携しながら、施策を的確に展開し、人口減少に歯止めをかけるため、4つの方向を示す。 ①若年層の人口流出の抑制・歯止め ②若年層・壮年層を中心とした人口流入の促進 ③若い世代の就労・結婚・子育てなどの生活環境の整備		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年10月23日			
公表日	平成17年11月2日			
3 基本目標等	大船渡市人口ビジョンに掲げた4つの「目指すべき将来の方向」を基本的視点として、人口減少に一定の歯止めをかけ、持続可能な地域づくりに資するため、次の4つの基本目標を設定し、その目標実現のために11施策、28プロジェクトに取り組む。 基本目標1 大船渡にしごとをつくり、安心して働けるようにする 基本目標2 大船渡への新しい人の流れをつくる 基本目標3 大船渡で安心して家庭を築き、子どもを産み育てられるようにする 基本目標4 大船渡で生涯暮らし続けられる地域をつくる			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	水産業連携強化促進プロジェクト	大船渡市魚市場水揚量	52,861t	60,000t
	おいしい「食」づくり力向上プロジェクト	新たに開発された特産品及び地域メニュー件数	2件	20件
	テレワーク導入促進プロジェクト	テレワーク実践事業所数	1件	5件
	出る杭育てるプロジェクト (起業家輩出プロジェクト)	起業・創業件数	38件	40件
	大船渡ファン獲得プロジェクト	大船渡ファン登録者数	0人	1,200人
	大船渡スローライフ・スローフードプロジェクト	お試し移住プログラム参加者数	0人	50人
	移住総合支援体制構築プロジェクト	移住相談件数	0件	80件
	出会いと結婚まるごと応援プロジェクト	婚活支援による結婚成立件数	0件	10件
	地域で支える子育て環境創出プロジェクト	「保育サービスが充実している」と答えた市民の割合	42.6%	70.0%
	被災中心市街地再開発プロジェクト	大船渡駅周辺地区への出店者数	1店	100店
5 策定までの特徴的な取組	市民ワークショップを開催し、市民主導の人口減少対策を検討し、モデル事業を実施している。また、産官学金労言及び市民による大船渡市総合戦略推進会議を設置し、ワークショップ形式で検討を行った。さらに、産業界等の代表者と市長との懇談の場を設けた。			

地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	花巻市	担当部局課名	総合政策部秘書政策課	掲載ＨＰアドレス	<a href="https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/401/425/p006496.html">https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/401/425/p006496.html</a>
------	-----	--------	------------	----------	---

I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		花巻市人口ビジョン	
2 策定日		平成27年10月27日	
公表日		平成27年10月28日	
3 人口の展望		現状 2014年	目標年 2060年
(1) 人口	99,135人（2015年）	73,500人	準拠している推計値等  <input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 （（4）記載のとおり）
(2) 出生率	1.42	2.1	
(3) 特徴	国に準拠した合計特殊出生率の改善と、若年層の移動率の改善		
(4) 展望	合計特殊出生率を2040年に1.8、2060年に2.1に向上し、20代までの若者の流出超過の抑制、30代の若者のUIJターンを促進することで、2060年に73,500人程度の人口を確保 ※社人研推計の考え方を基にした住民基本台帳人口ベースの推計値より17千人増を目指す。		
4 目指すべき将来の方向		○花巻市にしごとをつくり、安心して働けるようにする ○花巻市への新しい人の流れをつくる ○若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ○時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	

II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年10月27日（改訂版 平成28年3月22日）			
公表日	平成27年10月28日（改訂版 平成28年3月25日）			
3 基本目標等	・花巻市にしごとをつくり、安心して働けるようにする ①力強いものづくり産業の振興、②インバウンドの推進と観光コンテンツの拡充、③地域資源を活用した魅力ある農林業の推進、④産業を支える労働力の確保 ・花巻市への新しい人の流れをつくる ①移住・定住の推進、②企業の拠点強化とUIJターン者の就労支援、③地元学生等の定着推進 ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ①結婚から出産のライフステージへの支援、②結婚・子育てしやすい、ワーク・ライフ・バランスの実現、③次代を担う子どもたちが、健やかに育つための保育・教育環境の充実 ・時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する ①まちなか再生と、利便性の高い快適な暮らしを実現する生活基盤の整備、②地域で学び、育ち、自主的に進めるまちづくり、③防災危機管理体制の充実			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	市内企業の技術力・経営力の向上と競争力の強化を図る	新商品サービス開発件数	－件	3件
	訪日外国人観光客受け入れ増加対策を推進する	訪日外国人観光客市内宿泊者数	15,000人	50,000人
	移住・定住の受け入れ環境を整備する	市の施策を利用して転入した人数	－人	100人
	UIJターン者の就業や起業を支援する	就業支援事業を利用したUIJターン者の就業者数	－人/年	20人/年
	若い世代の結婚の希望をかなえる	結婚活動支援団体等による成婚数	4組	29組
	子どもの健康を守り、地域づくりの子育てを支援する	第2子以降の出生率	57.7%	60.7%
	持続可能な賑わいのある都市構造を再構築する	リノベーションに取り組む組織数	1団体	4団体
	多くの市民が自主的にまちづくりを進める環境をつくる	地域づくりにおけるファシリテーター的人材の育成人数	－人	12人
5 策定までの特徴的な取組	庁内の策定組織として設置した専門部会、ワーキンググループでの総合戦略案の検討段階で、市民や有識者との意見交換会を開催しており、策定までに約190の個人・団体から意見を伺っている。 また、9～11月には「人口減少と地方創生を考える市民ワークショップ」と題し、総合戦略(素案)をテーマに、講演会や市民ワークショップを開催した。			



# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	北上市	担当部局課名	企画部政策企画課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2016022500037/">http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2016022500037/</a>
------	-----	--------	----------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	北上市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン		
2 策定日	平成28年1月26日		
公表日	平成28年2月29日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	83,704人（2015年10月1日）	74,000人	□ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 （（3）記載のとおり）
(2) 出生率	1.64	2.07	
(3) 特徴	○出生率：北上市の過去30年（基準年：平成25年）の合計特殊出生率の減少率と同じ率で上昇し、2050年（平成62年）までに国と同じ2.07に到達し、その後一定で推移する。 ○移動率：若い世代の転出抑制及び転入促進の効果が得られた純移動率が2060年まで一定で推移する。		
(4) 展望	人口減少への対応は、自然増として「出生数の増加」と「死亡数の減少」、社会増として「転入者の増加」と「転出者の減少」に区分。人口減少の歯止めに向けた取組みと人口減少を前提とした適応に向けた取組みの両方を推進することで、2030年に90,000人（社人研推計比6,000人増）、2040年に86,000人（社人研推計比9,000人増）、2060年に74,000人（社人研推計比13,000人増）の人口を維持する。		
4 目指すべき将来の方向	人口減少の歯止めに向けた取組みと人口減少を前提とした適応に向けた取組みについて、4つの方向性の基に推進する。 ①結婚・出産・子育て世代をターゲットとした出生数（出生率）の向上 ②急速な高齢社会への進展を見据えた健康長寿の実現 ③住みやすさの追求と地域産業力の強化による転出の抑制 ④北上との縁やつながり、地域資源を活かした転入（U I Jターン）の促進		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	北上市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年1月26日			
公表日	平成28年2月29日			
3 基本目標等	人口減少下においても持続可能な都市「あじさい都市」の実現に向けた総合戦略の4つの基本目標を実現するために、「くらしを支える地域公共交通体系の構築」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」、「地域産業の振興」、「シティプロモーションの推進」の4つの重点プロジェクトを総合的かつ計画的に推進する。 ①北上で出会い、安心して子どもを産み育てられる「まち」を創る ②北上との縁やつながり、地域資源を活かしひとの交流を生み出す「まち」を創る ③魅力ある安定した雇用を生み出す「まち」を創る			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	若い世代の結婚の希望をかなえる安定就労と出会いの創出	市内平均所得	2,729千円	3,000千円
	妊娠から育児まで切れ目のない子育て支援環境の提供	年度末の保育園待機児童数	31人	0人
	女性や若者を中心としたU・Iターンの促進	女性の就業者数	17,453人	18,590人
	シビックプライドの醸成と都市ブランドの確立	これからも北上市に住みたいと思う人の割合	90.90%	90%以上
	産学官金による起業・開発支援の強化	新規事業等創出件数	4件	24件
	企業集積を活かした産業間の連携による相乗効果の発揮と販路の拡大	特産品取扱店舗数	387店舗	428店舗
	力強く持続する農林業の確立	新規就農者数	9人	15人
	地域資源を活かした都市・地域拠点の形成	新たな公共交通システムの構築	-	計画の策定
	全ての世代が安心して暮らせる健康長寿都市の実現	健康寿命	男性77.33年 女性82.72年	男性79.13年 女性84.32年
	互いの文化や考え方を理解し共に活躍できる社会の構築	国際ボランティア数	132人	160人
5 策定までの特徴的な取組	産業施策を主として市内6金融機関と意見交換会を実施した。			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	久慈市	担当部局課名	総合政策部政策推進課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.kuji.iwate.jp/seisakuka/kikaku_g/inkoubi/iyon_sougousenryaku.html">http://www.city.kuji.iwate.jp/seisakuka/kikaku_g/inkoubi/iyon_sougousenryaku.html</a>
------	-----	--------	------------	----------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	久慈市人口ビジョン		
2 策定日	平成27年10月30日		
公表日	平成27年10月30日		
3 人口の展望	現状 2015年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	34,940人	26,653人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( )
(2) 出生率	1.46	2.07	
(3) 特徴	○東京圏への社会増減ゼロ 社会移動に関して、市内での雇用の創出等により、進学・就学後のUターン等を促進する。 「国の総合戦略」や「岩手県人口ビジョン」を参考に、対東京圏との社会増減0を目標としている。		
(4) 展望	出生に関しては、結婚・出産・子育ての環境を整えることにより、「国の長期ビジョン」や「岩手県人口ビジョン」を参考に、合計特殊出生率が平成42（2030）年に1.8、平成52（2040）年に2.07に向上することを目指している。		
4 目指すべき将来の方向	人口減少に歯止めをかけるため、市民とともに4つの目指すべき将来の方向を共有する。 ①安定した雇用の創出 ②結婚・出産・子育てへの支援 ③久慈市への人の流れづくり ④震災からの復興と安心・安全なまちづくり		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～あまちゃんのまちづくり戦略～			
2 策定日	平成27年10月30日			
公表日	平成27年10月30日			
3 基本目標等	『久慈市人口ビジョン』を基礎資料として、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向けて、目標や方向性、具体的な施策を4つの政策分野で示している。 【政策分野】①安定した雇用の創出 ②結婚・出産・子育てへの支援 ③久慈市への人の流れづくり ④震災からの復興と安心・安全なまちづくり			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①第1次産業の拡充	農産物系統販売額	26億4,100万円	26億8,000万円
	②6次産業化の展開	新たな商品開発支援件数	0件	8件
	③若者や女性等の創業支援の充実	起業家数	1件	5件
	④教育界と産業界が一体となったキャリア教育の推進	新規高卒就職者3年経過後の職場定着率	58%	60%
	⑤安心して子どもを産み育てることができる支援の充実	健康診査受診率	妊婦 85.0% 乳幼児 94.7%	妊婦 90.0% 乳幼児 98.0%
	⑥子育て環境の整備の推進	子育て支援に関する満足度平均値	3.01 (H22年度)	3.50
	⑦誰もが集える場所づくり	久慈に住み続けたいと思う高校生の割合	0.58%	0.65%
	⑧体験型観光の推進	教育旅行・キャンプ等受入数	8,812人	10,800人
	⑨社会基盤の維持管理・更新と活用最適化	未利用の閉校舎数	4校	0校
	⑩地域で支えあう体制づくり	ふれあいサロンの実施割合	76.7%	86.7%
5 策定までの特徴的な取組	市総合計画策定のため開催した基本構想審議会、市民会議及び市政懇談会におけるワークショップなどの意見を反映させ、39名の委員で構成する総合戦略策定協議会で協議を行ない策定している。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	遠野市	担当部局課名	経営企画部 企画総括担当	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/30.33746.138.html">http://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/30.33746.138.html</a>
------	-----	--------	--------------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	遠野市人口ビジョン		
2 策定日	平成27年11月13日		
公表日	平成27年11月24日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	29,331人	20,248人	■ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 □ 独自推計 (
(2) 出生率	1.90 (H25)	1.94	
(3) 特徴	本市ではプロジェクト4において、2020年に合計特殊出生率1.94を達成することを目標としています。さらに、プロジェクト1・2・3による政策誘導によって、雇用の増加と移住の推進を図ることで、転出の歯止め及び転入の増加を見込みます。また、プロジェクト5による高齢者の健康増進により平均寿命の延伸を図ります。		
(4) 展望	本市は、合計特殊出生率の上昇と、雇用の確保及び移住の促進による転出の抑制・転入の促進、高齢者の健康増進による平均寿命の延伸を図ることで、2040年の人口を社人研の推計より約2,400人多い、20,200人程度と推計します。		
4 目指すべき将来の方向	現状分析と歴史的文化的による背景を踏まえ、人口減少の抑制と人口構造の若返りに取り組む基本的方向性として、次の4点を掲げます。 (1) 農村社会の価値を磨き、雇用の創出を図る (2) 子育てを地域で支える (3) 遠野で暮らしたい人が生活しやすい環境を整える (4) 高齢者が元気に暮らす地域をつくる		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	遠野スタイル創造・発展総合戦略			
2 策定日	平成27年11月13日			
公表日	平成27年11月24日			
3 基本目標等	第2次遠野市総合計画では、共通優先方針を「産業振興・雇用確保」と「少子化対策・子育て支援」としている。総合戦略は、この共通優先方針を基に5つの重点プロジェクトとプロジェクトXに取り組み、戦略を展開していく。 重点プロジェクト：①雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興；②タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出；③観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進；④「子育てするなら遠野」；⑤高齢者の自立と社会参加の促進、プロジェクトX：「人と人とのふれあいによる“しあわせ度”の向上」			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興	創業支援件数	7件	6件
	①雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興	新規学卒者雇用数	71人	86人
	②タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	認定新規就農者数	1人	5人
	②タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	重点野菜出荷額	1.3億円	2.3億円
	③観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	定住者世帯数（H18からの累計）	61世帯	140世帯
	③観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	道の駅を含む主要観光施設観光客数（外国人観光客再掲）	184万 (1,208人)	188万人 (3,000人)
	④「子育てするなら遠野」	合計特殊出生率	1.9	1.94
	④「子育てするなら遠野」	児童館・児童クラブ年間利用延べ人数	136,814人	139,450人
	⑤高齢者の自立と社会参加の促進	I C T健康づくり事業 参加者数	462人	640人
	⑤高齢者の自立と社会参加の促進	特定健康診査受診率	50.2%	60%
5 策定までの特徴的な取組	産・官・学・金・労・言で構成した有識者会議を4回、市議会議員との意見交換会を1回、遠野市まち・ひと・しごと推進本部会議を6回開催し、「遠野スタイル創造・発展総合戦略」を策定した。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	一関市	担当部局課名	市長公室政策企画課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7.69754.198.html">http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7.69754.198.html</a>
------	-----	--------	-----------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		一関市人口ビジョン	
2 策定日		平成27年10月27日	
公表日		平成27年11月9日	
3 人口の展望		現状 2010年	目標年 2040年
(1) 人口	127,642	86,000	準拠している推計値等  <input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3)記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.58	2.07	
(3) 特徴	合計特殊出生率が2030年に1.8、2040年に2.07、2050年に市民の希望出生率である2.12まで向上し、また、社会減が2030年に解消されるものとして、2040年に8万6千人程度の人口を確保する。 ※ 出生・死亡・移動の状況が現状のまま推移した場合の将来推計人口から1万1千人増を目指す		
(4) 展望	人口減少に歯止めをかけ、長期的な人口の安定も視野に入れて、2040年に8万6千人程度の人口を確保する。		
4 目指すべき将来の方向		4つの柱で取組を進める。 <input type="radio"/> 市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集うまちを目指します <input type="radio"/> 社会全体で子育てを支援し、次代の担い手を応援するまちを目指します <input type="radio"/> 心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します <input type="radio"/> 未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年10月27日			
公表日	平成27年11月9日			
3 主な取組内容とそのKPI	4つの基本目標及び施策体系の方向性について、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、住みたい、住んでよかったまちを目指し、また、誇りや愛着が持てるまちが未来へと引き継がれていくことを目指すものとし、主要政策である子育て支援の推進や健康長寿を前面に打ち出したほか、ILCを基軸としたまちづくり、資源エネルギー循環型のまちづくり及び協働によるまちづくりなど、当市独自のまちづくりの取組を横軸に据えている。			
4 主な取組内容とそのKPI		KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
I-① 安定した雇用の創出	誘致企業数（18年度からの累計）	21社	31社	
I-② 新しい人の流れをつくる	観光入込客数	2,101 千人回/年	2,300 千人回/年	
II-① 結婚・出産の希望をかなえる	いちのせき結婚活動サポートセンターの会員登録数	324人	500人	
II-② 安心して子育てを楽しめる環境の形成	待機児童数	43人	0人	
III-① 地域で安全に安心して暮らせる環境の整備・充実	介護担い手育成講座受講者数（累計）	15人	115人	
III-② 生きがいを持ち健康に暮らせる環境づくり	介護予防事業延べ参加者数	33,711人	54,781人	
IV-① 将来にわたって持続可能なまちづくり	市民や各団体からの要請を受けて行ったILCセミナーの年間	36回	50回	
IV-② 連携と協働によるまちづくり	地域協働体設立数（市登録数）	18団体	34団体	
5 策定までの特徴的な取組	・平成28年度を始期とする一関市総合計画前期基本計画と整合を図ることとし、有識者会議等での検討状況を総合計画審議会でも共有することとして策定を進めた。			



# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	陸前高田市	担当部局課名	企画部企画政策課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/shisei/kaku-ka-oshirase/kakuka-oshirase.html">http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/shisei/kaku-ka-oshirase/kakuka-oshirase.html</a>
------	-------	--------	----------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	陸前高田市人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月14日		
公表日	平成28年3月14日		
3 人口の展望	現状 2010年（人口）/2013年（出生率）	目標年 2060年（人口）/2040年（出生率）	準拠している推計値等
(1) 人口	23,298人	11,700人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3)記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.77	2.07	
(3) 特徴	○ 独自推計 合計特殊出生率を2040年に2.07に向上し、市外転出者のうち、2025年までに600人の帰還・帰郷と5年間ごとに200人の転入者による新規雇用を見込むと、2060年には11,700人程度の人口を確保		
(4) 展望	人口減少や少子高齢化を抑制させることで、2060年に11,700人程度の人口を確保する。 ○ 地域産業を担う人材の確保 ○ 身近なサービスの確保 ○ 交流人口の増大による地域活性化		
4 目指すべき将来の方向	人口減少や少子高齢化が抑制されることで、地域の産業、生活に必要なサービス、対外的な交流など、様々な分野において、担い手の確保を目指す。 地域の様々な取り組みが維持・活性化されていくことで、次世代の若い人たちをはじめ、市民の誰もがいきいきと暮らす「ノーマライゼーションという言葉のいないまち」を創る。		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略			
2 策定日	平成28年3月14日			
公表日	平成28年3月14日			
3 基本目標等	市内外の交流促進と流入人口の増大、市外に転出した人の再就職や若者が将来就職できる職場の確保など、復興による新たなまちづくりと連携していく内容とした。具体的には、4つの基本目標と目標達成のための7つの施策により総合戦略を展開していく。 ○陸前高田への新たな人の流れを創造し「思民」が集うまちをつくる ○復興を契機に若者が活躍できるしごとの創出につなげる ○結婚・出産の希望をかなえ、子育てを協働で支える環境をつくる ○市民の安心につながる暮らしやすいまちをつくる			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2015年度	目標値 2019年度
	①「陸前高田思民」制度の創設	陸前高田思民登録数	—	5,000人以上
	②空き校舎を利用した市民と学生らの交流活動拠点の設置	交流活動拠点施設を利用する学生数	—	5,000人以上
	③U・Iターン者等の移住支援と奨励金の拡充	U・Iターン相談件数	—	200件以上
	④「たかたのやめ」・「エゾシカゲ貝」の生産体制の強化、生産者、漁業者の所得向上と後継者育成	エゾシカゲ貝の水揚げ量	32トン	100トン以上
	⑤起業家の育成と雇用を生み出す新規事業への支援	起業プランコンテスト応募者からの企業者数	—	5件以上
	⑥妊娠・出産・子育て総合支援の充実	合計特殊出生率	1.77	1.77以上
	⑦子育てと仕事の両立への支援	仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数	1件	10件以上
	⑧「小さな拠点」の形成による利用しやすい公共交通システムの構築	住民の活動組織（地域運営組織）形成団体数	—	1団体
5 策定までの特徴的な取組	・平成24～27年の転出者への帰還・帰郷の意向調査や市内企業への採用ニーズ調査を実施し、その結果を重視した戦略等の策定を行った			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	釜石市	担当部局課名	総務企画部総合政策課 オープンシティ推進室	掲載HP アドレス	<a href="http://www.city.kamaishi.iwate.jp/shisei_joho/keikaku_torikumi/chihousousei/detail/1200503_3278.html">http://www.city.kamaishi.iwate.jp/shisei_joho/keikaku_torikumi/chihousousei/detail/1200503_3278.html</a>
------	-----	--------	--------------------------	--------------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	釜石の実像（釜石市人口ビジョン）		
2 策定日	平成27年10月30日（初版）、平成28年3月31日（最終版・改訂版）		
公表日	平成27年11月20日（初版）、平成28年3月31日（最終版・改訂版）		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 年	準拠している推計値等
(1) 人口	36,489	27,000	□ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 (3)記載のとおり。）
(2) 出生率	1.81 (2013年)	2.1	
(3) 特徴	合計特殊出生率を現状の1.81から2030年までに人口置換水準の2.1まで上昇させ、自然動態の改善を図り、かつ、東日本大震災後に抑制された社会減の動態（2012～2014年度の3年間の平均水準マイナス107人）を維持することで、27,000人程度を2040年の将来人口目標として展望する。※社人研の試算では、2040年に21,503人になると推計。		
(4) 展望	釜石の実像の中から抽出された4つの問題に対して、明確な課題設定を行い、釜石市オープンシティ戦略において効果的な施策を打つことで、人口減少スピードを緩やかにし、27,000人程度の人口を維持する。 【4つの問題】①高齢化の進展、②出生数の減少、③転出者の増加、④労働力の減少		
4 目指すべき将来の方向	11の課題を設定し、釜石市オープンシティ戦略で具現化を図る。 【11の課題】①高齢者が元気にいきいき暮らす生涯現役社会の構築 ②持続可能な地域づくりに向けた人材育成や多様な主体の連携促進 ③魅力的な就業機会の創出を通じた若年女性の地元定着の推進 ④若者の結婚に対する意識醸成と未婚男女の出会いの場創出 ⑤仕事と子育てを両立しやすい環境整備とワークライフバランスの推進 ⑥関わり方の提供とつながりを生かした移住促進及び観光振興 ⑦釜石人としてのDNAの確立と地元出身者との継続的な繋がり創出 ⑧シニア層や女性を中心とした潜在的な労働力の発掘・活用 ⑨企業と人材を結びつけるマッチング機能の向上 ⑩地域に貢献する若者の挑戦を応援する仕組みの構築 ⑪ライフスタイル提案による一次産業の担い手育成・誘致		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	釜石市オープンシティ戦略（釜石市総合戦略）			
2 策定日	平成27年10月30日（初版）、平成28年3月31日（最終版・改訂版）			
公表日	平成27年10月30日（初版）、平成28年3月31日（最終版・改訂版）			
3 基本目標等	基本思想として「オープンシティ釜石 ～市民一人ひとりが役割を持つ、もっとも開かれたまち～」を掲げ、歴史が育んだ文化的土壌と社会関係資本を最大限生かしながら、良質な地域内外の交流を通じて、多様な人材が還流し、地域の課題と可能性が自分事化され、新たな事業機会や市民活動が生み出されることによって、希望が連鎖していく、そうしたサイクルが回っている状態を地域のありたい姿として掲げる。戦略では、①人材を還流させる「まちの人事部」機能の構築、②多様なビジネスが生まれる土壌づくり、③自然な出会いの創出と社会で子どもを産み育てる環境整備、④自ら学び、選択する人材の育成と市民による「らしさ」の創出、⑤世代を超えて、お互い支え合える地域づくり、を5つの戦略コンセプトとして掲げる。			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	成長企業の右腕人材誘致	UIターン就業者数	—	50人
	「まちの人事部」機能構築に向けたプラットフォーム形成	新規創設する会員制度加入者数	—	2,500人
	起業支援プラットフォームの構築	新規創業数	—	25人
	世界遺産登録を契機としたDMO形成と観光地域づくり	観光等宿泊者数	—	30万人
	広域連携による自然な出会いの場創出	婚活事業による成婚数	—	15組
	待機児童ゼロの実現と第二子以降保育料無料化	待機児童数	—	0人
	高校生に対する地域資源を生かしたキャリア構築支援	キャリア教育プログラム参加者数	—	1,500人
	釜石〇〇会議を通じた市民主体のまちづくりの実現	釜石〇〇会議参加者数	—	1,500人
	支え合いによるコミュニティビジネスの立ち上げ支援	地域の世話焼き人数	—	50人
5 策定までの特徴的な取組	認知症サポーターの育成	認知症サポーター認定者数	—	2,700人
	一般公募の25名の市民、庁内の35歳以下の職員25名、計50名で市民WGを組織し、市民協働のまちづくりを体現。戦略策定を担う「まち・ひと・しごと創生室」は外部人材（民間企業出向者）を起用し、外部委託はせずに、自前で戦略を策定。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の策定状況について

市町村名	二戸市	担当部局課名	総合政策部政策推進課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.city.ninohe.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=5049">http://www.city.ninohe.lg.jp/forms/info/info.aspx?info_id=5049</a>
------	-----	--------	------------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	二戸市人口ビジョン		
2 策定日	平成28年2月29日		
公表日	平成28年3月4日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2045年	準拠している推計値等
(1) 人口	29,702人	20,000人	■ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 □ 独自推計 (
(2) 出生率	1.47	2.1	
(3) 特徴	○ 合計特殊出生率向上＋人口移動率均衡 合計特殊出生率を2040年に2.10に向上させ、20代後半から40代後半世代の移動率を均衡させることで、2045年には2万人程度の人口を確保 ※ 社人研推計より2,900人増を目指す。		
(4) 展望	国の長期ビジョンなどを踏まえ、平成57年（2045年）に人口規模20,000人を維持し、かつ、人口構造の若返りを目指す。 ○合計特殊出生率を平成42年に2.10まで上昇させ、それ以降は2.10を維持 ○若者が就労できる雇用環境創出、U・Iターン、中高齢者の就業促進などにより全年齢の移動率を社人研移動率の仮定値よりも4割縮小 ○20歳代後半～40歳代後半の世代が、安心して妊娠・出産・子育てをすることができる社会環境を実現することで、この世代と子どもの移動率を平成42年（2030年）に均衡		
4 目指すべき将来の方向	次の3つの視点を基本とし、人口減少を抑制し元気な二戸市を維持 ○職場、地域、家庭などあらゆる場面での人づくり ○若い世代の就労、結婚、妊娠・出産・子育ての支援 ○地域資源を生かした地域活性化		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	二戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年2月29日			
公表日	平成28年3月4日			
3 基本目標等	「二戸市人口ビジョン」で示した将来展望を実現に向けた基本目標や施策を示し、人口減少の抑制と地域経済の好循環の促進を図る。具体的には、4つの基本目標を展開していく。 ○安心して働けるしごとをつくる ①地域資源を活かした産業振興と創業支援の推進、②新たな産業創出と地域が潤う経済循環の確立 ○新しい人の流れをつくる ③「産業」と「人」で魅せる交流の推進、④芸術・文化・スポーツによる連携・交流の推進、⑤移住・定住の推進 ○若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ⑥安心して子育てできる環境の充実、⑦地域に愛着と誇りをもてる教育の推進 ○時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る ⑧小さな拠点形成による地域活性化の推進、⑨安心して暮らせる地域コミュニティづくりの推進、⑩自然と共存する基盤整備の推進			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①地域資源を活かした産業振興と創業支援の推進	担い手への農地集積率	40.10%	45.0%
	②新たな産業創出と地域が潤う経済循環の確立	新規起業家数	—	5件
	③「産業」と「人」で魅せる交流の推進	大学等との交流者数	9人	50人
	④芸術・文化・スポーツによる連携・交流の推進	ボランティアガイド利用者数	3,440人	4,130人
	⑤移住・定住の推進	移住体験者数	—	10人
	⑥安心して子育てできる環境の充実	年間婚姻数	82組	105組
	⑦地域に愛着と誇りをもてる教育の推進	地域行事等の児童生徒参加率	—	70.0%
	⑧小さな拠点形成による地域活性化の推進	コミュニティバス利用者数	34,322人	36,000人
	⑨安心して暮らせる地域コミュニティづくりの推進	高齢者が生きがいを感じる割合	—	50.0%
	⑩自然と共存する基盤整備の推進	風力発電事業着手数	—	2事業
5 策定までの特徴的な取組	第2次二戸市総合計画と併行して策定作業を進め、まちづくりワークショップや各種団体・中高生・子育て世代のお母さん等との意見交換など幅広い意見を反映させるとともに、有識者や各種団体の代表で構成する審議会で審議を重ねながらビジョン・戦略づくりを行った。			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町名	八幡平市	担当部局課名	企画財政課	掲載HP アドレス	<a href="http://n22gw01.city.hachimantai.lg.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.exe/portal/index?pid=5">http://n22gw01.city.hachimantai.lg.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.exe/portal/index?pid=5</a>
-----	------	--------	-------	--------------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	八幡平市人口ビジョン		
2 策定期間	平成27年12月24日  平成27年12月28日公表		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	(H22国調人口) 28,678人	18,800人	□ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 ( (3) 記載のとおり )
(2) 出生率	(2013年) 1.31	2.07	
(3) 特徴	○ 国準拠+社会増減ゼロ 合計特殊出生率を2040年に2.07に向上し、2025年以降に本市の社会増減ゼロを継続すると、2040年には18,800人の人口を確保 ※ 社人研推計より2,335人増を目指す。		
(4) 展望	人口減少を抑制し、高齢化率の上昇に歯止めをかけるため、次の2点に取り組む。 ○ 出生率の向上を図り、自然人口の回復を目指す。 ○ 人口移動率の回復を図り、定着率の高いまちを目指す。		
4 目指すべき将来の方向	○ 若年層・女性・子育て層の定住促進による、人口回復と年齢構成の改善 ○ 高齢者の元気増進、観光客入込みや市民活動量の増大、八幡平ファン拡大等によるまちの活力強化		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定期間	平成27年12月24日策定  平成27年12月28日公表			
3 基本目標等	4つの基本目標と17の施策（プロジェクト）により総合戦略を展開していく。 ○ 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造 ○ 八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る ○ 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む ○ 各地域の元気を活かしたコンパクトなまちづくりにより持続性を高める			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①八幡平市の農と輝のブランド強化プロジェクト	りんどう（切花）販売額	1,067百万円	1,300百万円
	②大学等連携による産業・雇用・人材強化プロジェクト	平舘高等学校の生徒数	249人	249人
	③地熱エネルギーを活かした地域活性化プロジェクト	プロジェクトによる雇用の創出	—	17人
	④観光客もてなし体制強化プロジェクト	外国人観光客数	22,364人	32,000人
	⑤観光マネジメント体制強化（日本版DMO）による教育旅行活性化プロジェクト	教育旅行客入込数	28,511人	30,000人
	⑥日本版CCRC（生涯活躍のまち）構想プロジェクト	市外からの移住者数	—	60人
	⑦子育て支援サポートプロジェクト	保育所待機児童数	6人	0人
	⑧出会い・縁づくりプロジェクト	イベントを通じた婚姻組数	1組	3組
	⑨地域拠点（小さな拠点）活性化プロジェクト	JR花輪線大更駅1日当たり利用者数	275人	275人
	⑩八幡平市全国プロモーションプロジェクト	動画視聴回数	25万回	35万回
5 策定までの特徴的な取組	市内各地域振興協議会単位で人口減少問題にかかる市長と市民との懇談会を行うとともに、地域審議会、議会等との意見交換を行い、戦略等への意見反映について検討を行った。			



# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	奥州市	担当部局課名	政策企画課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.city.oshu.iwate.jp/view.rbz?cd=6273">http://www.city.oshu.iwate.jp/view.rbz?cd=6273</a>
------	-----	--------	-------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	奥州市人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月28日		
公表日	平成28年3月28日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	118592	80160	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3)記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.52	2.1	
(3) 特徴	○ 合計特殊出生率人口置換水準以上＋社会増減ゼロ 合計特殊出生率を2060年に2.10に向上し、2030年以降に本市の社会減ゼロを継続すると、2040年には94,177人の人口を確保 ※ 社人研推計より7,946人増を目指す。		
(4) 展望	地域内の雇用環境を充実させ、出会いの機会を増やして結婚する男女を増やし、子どもを産み育てるための環境を整えることは当然であるが、地域に誇りを持つ市民を育て、市内の至る所で様々な活動が活発に行われるような地域にしていけることが、最終的に人が集まる活気のあるまちづくりにつながる。		
4 目指すべき将来の方向	「歴史的風土と豊かな自然に快適な都市基盤が調和した、誇りと幸せを感じられるまち奥州」		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月28日			
公表日	平成28年3月28日			
3 基本目標等	目標1 安定した雇用と新しい産業の創出 目標2 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ 目標3 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓 目標4 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出	創業支援者数（年間）	52	100
	地の利を活かした企業誘致等による雇用拡大	企業誘致件数（累計）	3	15
	観光を核とした交流人口の拡大による関連産業の活性化	外国人観光客の入込推計（年間）	1350	2300
	出会いの機会の創出	出会い創出・結婚支援団体の認定登録団体数	0	10
	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	待機児童数（10月1日現在）	58	0
	移住・定住の促進	UIターン者数（累計）	121	500
	移住者等の就業・起業支援	ワーキングホリデー参加者数	50	60
	魅力ある奥州市の地域資源を生かした交流人口の拡大	市の魅力発見ツアーの参加者数（累計）	0	40
	生涯を通じた学習支援による、人づくりの推進	地域リーダー養成講座受講者数	1336	1400
	地域住民が主役となるまちづくりの推進	地区センター事業参加者数	162113	170000
5 策定までの特徴的な取組	・市民ワークショップ、民間団体を加えた分科会での施策の検討、アンケートの実施（市民、労働者、高校生、首都圏在住者）、産学官金労言市民からなる策定委員会での審議など、市民総参加体制で戦略の策定を行った。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町名	滝沢市	担当部局課名	企画総務部企画政策課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.city.takizawa.iwate.jp/27sougousennryaku00">http://www.city.takizawa.iwate.jp/27sougousennryaku00</a>
-----	-----	--------	------------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		滝沢市人口ビジョン	
2 策定期間		平成27年9月	
		平成27年10月30日公表	
3 人口の展望		現状 2014年	目標年 2040年
(1) 人口	5.5万人	5.7万人	□ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 ( (3)記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.45	1.5	
(3) 特徴	合計特殊出生率を2040年に1.60まで向上させ、2015年から20代～40代の移動率を社人研推計値に対して各年+4%向上させることで、2022年までに人口57,000人を達成し、以降2040年まで維持させる。 ※ 社人研推計より約7,000人増を目指す。		
(4) 展望	人口減少に歯止めをかけ、若い世代の転入を促すことで、2040年まで人口57,000人を達成・維持する。 ○ 市民が理想とする結婚、市民が理想とする出産・子育て環境の実現により、幸福感を育む。 ○ 盛岡広域都市圏における研究学園都市としての機能維持を図るため、生活利便性の向上や		
4 目指すべき将来の方向		「幸福感を育む環境づくり」と「定住、転入促進を促す環境づくり」 ≪自然減対策≫ ○出会いの場の創出、○結婚・出産・子育ての希望の実現に向けた経済的支援 ≪社会減対策≫ ○魅力ある生活環境の整備	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	滝沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定期間	平成27年10月			
	平成27年10月30日公表			
3 主な取組内容とそのKPI	市内3大学との連携によるICT企業立地を中心とする雇用の創出、子育て世代の転入、若者の定住・移住、住民自治の進化を促す内容とした。具体的には、3つの施策推進目標の達成のため、4つの取組と28の事業により総合戦略を展開していく。 ○若い世代の雇用の創出：①雇用創出に関する取組 ○若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる：②結婚・出産・子育てに関する取組 ○人とのつながりを魅力に、定住・転入・交流人口の拡大を促す：③次代を担う人の呼び込みに関する取組、④地域連携に関する取組			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①イノベーションセンター等への企業集積	誘致企業数	—	15社
	②産学官連携、異業種連携による価値創造	産学官連携による課題解決実績	30件	42件
	③起業・創業支援による新たな雇用創出	滝沢市内で創業した人の数	—	5名
	④農業の成長産業化	6次産業化開発取組件数	—	3件
	⑤妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	特定不妊治療助成を受け妊娠に至った夫婦の数	—	5組
	⑥滝沢市男女共同参画計画の推進	男女共同参画サポーター認定者数	36人	42人
	⑦市内三大学との包括的連携強化	学生提案プロジェクト数	—	5件
	⑧UIJターン希望者の掘り起こし	滝沢ふるさと会会員数	121人	130人
	⑨地域づくり人材の育成、確保	自治会加入率	81.10%	83.00%
	⑩公共交通ネットワーク形成に向けた連携	市内全駅の1日平均乗降人員合計	6,164人	6,164人
5 策定までの特徴的な取組	・産学金労言の各界から本市の地域資源を活用した地方創生に資する提案を公募（27者、59提案）したほか、滝沢市内の中学校、高校、大学と保育園・PTA等と協力して若者・子育て世代を対象に市民フォーラムを開催し、各年代から意見聴取・意向把握を行い、戦略等への反映について検討を行った。			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町名	雫石町	担当部局課名	企画財政課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/docs/2015110600017/">http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/docs/2015110600017/</a>
-----	-----	--------	-------	----------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目		内 容		
1 名称		雫石町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン		
2 策定期間		平成27年10月 平成27年11月5日公表		
3 人口の展望		現状	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口		17,011人（2015年）	15,700人	■ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 □ 独自推計 （
(2) 出生率		1.22（2013年）	2.07	
(3) 特徴		転出者数を抑制するとともに転入者を増やし、平成31年度までに社会増減±0人まで向上し、以降毎年50人程度の社会増を図るとともに、合計特殊出生率を平成31年度までに岩手県平均値（県目標値1.45）以上に向上を図りながら、平成52年までに人口置換水準である2.07に向上すること等により、自然減を100人程度まで抑制し、平成52年に総人口15,700人（現状の10%程度の減少）を目指す。		
(4) 展望		可能な限り人口減少の速度をゆるやかなものとし、将来の目標人口を次のように設定している。 ① 目標1 今後25年間で10%程度の人口減少に抑える ⇒ 2040年に15,700人を目指す ② 目標2 以降、人口減少をよりゆるやかな速度まで減速させる ⇒ 2060年に15,000人を目指す		
4 目指すべき将来の方向		本町の目指すべき将来の方向については、人口減少に歯止めをかけ将来にわたって活力ある地域を維持するとともに、『みんながいきいきと活躍し、雫石に暮らす幸せを実感できるまちづくり』を目指し、また、その実現に向け、以下の施策に対する取り組みを進める。 ① いきいきと仕事のできるまちづくり ② 誰もが住みやすいまちづくり ③ 安心して結婚・出産・子育てができるまちづくり ④ 特色ある地域づくりとみんなで支え合うまちづくり		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定期間	平成27年10月 平成27年11月5日公表			
3 基本目標等	① いきいきと仕事のできるまちづくり ・ 農林業の振興、商工業の振興、観光業の振興 ② 誰もが住みやすいまちづくり ・ 移住者受入態勢体制整備と情報発信、居住拠点の確保、魅力的な生活環境の提供 ③ 安心して結婚・出産・子育てができるまちづくり ・ 結婚支援、妊娠から出産の切れ目ない支援、子育て・教育環境の充実 ④ 特色ある地域づくりとみんなで支え合うまちづくり ・ 特色ある地域づくり、地域防災力強化と地域で支え合う環境			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値	目標値 2019年度
	①農林業の振興	町農業産出額推計による農業産出額	78.09億円	78億円
	②商工業の振興	新規起業事業者数	3事業所	18事業所
	③観光業の振興	外国人観光客数	13,000人	26,000人
	④移住者受入態勢の整備と情報発信の強化	移住相談件数	2件	50件
	⑤居住拠点の確保にかかる多面的支援	空き家バンク登録件数	1件	30件
	⑥魅力的で快適な生活環境の提供	CCRCコミュニティ施設における移住者数	0人	100人
	⑦結婚支援	婚活イベント参加者の婚姻	1組	5組
	⑧妊娠から出産までの切れ目ない支援	第3子以降出生数	18人	25人
	⑨特色ある地域づくりの推進	「地域づくり計画」に基づき実施された事業数	0事業	20事業
	⑩地域防災力の強化と地域で支え合う環境づくり	買物支援事業拠点数	0拠点	25拠点
5 策定までの特徴的な取組	戦略の策定に関し、産官学金労言のメンバーで構成される「雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」において、3回（7月、9月、10月）協議いただいた。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	葛巻町	担当部局課名	総務企画課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/docs/2016040400012/">http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/docs/2016040400012/</a>
------	-----	--------	-------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	葛巻町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月30日		
公表日	平成28年3月30日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	6,340人（H27国勢調査）	4,027人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 （
(2) 出生率	1.93（H25）	2.2	
(3) 特徴	○ 平成22年までの人口増減率はピーク時と比較し▲54.2%、県内で4番目に人口減少割合が高い ○ 若い世代の男女のバランスは、男性に比べて女性が少ない。 ○ 生涯未婚率、男性は県平均よりも極めて高い。		
(4) 展望	子どもがいる若いファミリー層を町外から呼び込み増加させることで、人口減の抑制と年齢構成の若返りを図り、2040年に社人研より約10%、日本創成会議より約20%多い、4千人程度を確保。 ○ 合計特殊出生率を現状の1.93から2.2（本町の昭和60年以降の平均値）に引き上げる。 ○ 子育て世帯を年間3世帯を新たに呼び込む。		
4 目指すべき将来の方向	将来の望ましい姿を実現するためには、転出超過が続き、高齢化が顕著となっている状況を打開し、子どもがいる若いファミリー層を積極的に増加させていく取り組みが重要。 ① 人口の減少幅をできるだけ抑制 ② 一定の水準で人口規模を維持 ③ バランスの取れた人口構成（年齢、男女比、地域規模など）		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月30日			
公表日	平成28年3月30日			
3 基本目標等	総合戦略の具体的な取り組み内容として、3つの基本目標を掲げ、目標達成に向けた5つの戦略プロジェクトと戦略プロジェクトを具体的に推進するための総合的な体制を加えた6つのプロジェクトを展開していく。 ○ いきいきと輝き続ける“ひと”：子どもを安心して産み育てられる子育て支援、学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 ○ 誰もが住みたいくなる“まち”：快適に暮らせる生活環境の創出 ○ 地域資源を活かす“しごと”：基幹産業の強化と新たな産業創出による雇用の確保、交流・連携の強化による地域産業の育成 有効的な対策を講じるための視点 〈人口の社会増〉移住定住者の増加、Ｕターン者の増加 〈人口の自然増〉出生数の増加 〈地域の魅力増〉世帯収入の確保、地域の誇りアップ			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	子どもを安心して産み育てられる子育て支援	合計特殊出生率	1.93	2.2
	学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成	若者定着率	27.60%	40.00%
	〃	葛巻高校入学者数	38人	42人
	快適に暮らせる生活環境の創出	移住定住住宅物件数	4件	40件
	基幹産業の強化と新たな産業創出による雇用の確保	新規起業件数	—	4件
	交流・連携の強化による地域産業の育成	観光客入込数	492千人	550千人
	相談・PR体制の構築	ファミリー層移住件数	—	年間3世帯
5 策定までの特徴的な取組	各種団体との懇談会を開催したほか、有識者会議を兼ねる総合計画審議会や役場各係単位でのWS形式での人口減少対策事業に係る検討を行い、戦略等への意見反映を行った。			



# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	岩手町	担当部局課名	企画商工課	掲載HP アドレス	<a href="http://town.iwate.iwate.jp/gyosei/vision_strategy/">http://town.iwate.iwate.jp/gyosei/vision_strategy/</a>
------	-----	--------	-------	--------------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	岩手町人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月24日		
公表日	平成28年3月25日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	14,602人	10,000人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3) 記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.59	2.1	
(3) 特徴	<p>○ 国準拠+社会増減ゼロ 合計特殊出生率を2025年に2.1に向上し、2020年以降に社会減ゼロを継続すると、2040年には1万人程度の人口を確保 ※ 社人研推計より1.8千人増を目指す。</p>		
(4) 展望	<p>人口減少に歯止めをかけ、2040年に1万人程度の人口を確保する。 結婚、出産、子育てに対する住民の希望をかなえ、希望出生率2.1の実現を目指す。 地域経済の活性化や転入者の受入れ、定住の促進を図り、転出入数の均衡を目指す。</p>		
4 目指すべき将来の方向	<p>4つの基本目標の実現に向けて取り組む ○安定したしごとをつくる：しごと創出のための人材育成や起業支援に取り組み、雇用の創出を目指す。 ○新しいひとの流れをつくる：移住・定住に対して、適切な受け入れが可能となる仕組みづくりを推進する。 ○結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる：きめ細やかで切れ目のない支援をする。 ○心豊かに暮らせる成熟した地域社会をつくる：町の特性を生かした安心して暮らせる地域づくりを推進する。</p>		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	岩手町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月24日			
公表日	平成28年3月25日			
3 基本目標等	<p>起業や商品開発に取り組む人材を育成し、地域経済の活性化や雇用拡大をめざす。移住定住対策、結婚から子育てまで切れ目のない支援と安心して暮らせるまちづくりのための政策を展開する。 ○安定したしごとをつくる：①雇用創出のための人材育成、②農林業振興、③商工業振興、④観光振興 ○新しいひとの流れをつくる：⑤移住・定住の促進 ○結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる：⑥結婚・出産支援、⑦子育てにやさしいまちづくり ○心豊かに暮らせる成熟した地域社会をつくる：⑧地域特性を生かした地域づくりと安全体制の充実、⑨安心して暮らせる生涯現役のまちづくり、⑩広域連携の促進</p>			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	農林業の生産基盤・生産環境の充実	1次産業純生産額	28億円 (2012年)	32億円
	商工業の振興、起業支援、企業誘致の推進	起業及び6次産業化数	2件	15件
	移住・定住の促進	転入数	305人	350人
	結婚・出産支援の充実	出生数	76人	100人
	安心して暮らせる生涯現役のまちづくり	安心生活あいネット地域活動数	14地域	40地域
5 策定までの特徴的な取組	各種審議会、会議や団体との会合、在京関係者との会合等、あらゆる機会を通じて意見の聴取を行い、戦略等への意見反映について検討を行った。			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	紫波町	担当部局課名	経営支援部企画課	掲載HP アドレス	<a href="http://www.town.shiwa.iwate.jp/cms/section/seisaku/entry_177.html">http://www.town.shiwa.iwate.jp/cms/section/seisaku/entry_177.html</a>
------	-----	--------	----------	--------------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	紫波町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン		
2 策定日	平成28年2月15日		
公表日	平成28年2月22日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	3.3万人	2.7万人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 (3)記載のとおり
(2) 出生率	1.36	2.07	
(3) 特徴	○国準拠＋近年の社会移動の傾向を反映させ一定数の社会増を確保 一定数の社会増を維持して社会減を回避し、合計特殊出生率が2040年以降2.07で推移すると、2060年には2.7万人程度の人口が確保できる。 ※ 社人研推計準拠より7千人増（独自推計26,998人－社人研準拠19,640）を目指す。		
(4) 展望	紫波に住む一人ひとりの生き生きと魅力あふれる日常生活が実現することで、人口減少をゆるやかなものとし、2060年に2.7万人程度の人口が確保された持続可能なまちを目指す。		
4 目指すべき将来の方向	人口が集積する中央部のみならず、東部や西部の農村部にあってもそれぞれの地域に合った豊かな生活の質の確保を目指す。 ○30～40代のマイホーム世代の流入の確保 ○魅力ある生活関連産業の育成、住環境の整備、子育て・教育環境の充実 ○多様で豊かな農林業生産を背景にした市民発のローカルビジネスの興隆		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年2月15日			
公表日	平成28年2月22日			
3 基本目標等	人口減少問題の克服と稼ぐ力の確保のため、4つの基本目標と8つの連携プロジェクトを設定。 ■基本目標：①ローカル経済でしごとが生まれる、②女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる、③子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる、④民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる ■連携プロジェクト：①つながる子育てプロジェクト、②めぐって学んで五感で味わう紫波探訪プロジェクト、③来てみて住んでみてきっと満足プロジェクト、④くらしに便利な都市機能充実プロジェクト、⑤つないでつむいで新たな農業応援プロジェクト、⑥おらほの企業しっかり応援プロジェクト、⑦あるもの活かして課題解決プロジェクト、⑧みんなの財産きちんと管理プロジェクト			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①「稼ぐ」産業にチャレンジする起業家・新規就農者を支援	新規就農技術取得研修受講者	—	20人（5カ年累計）
	②立地を希望する企業の進出と既存企業の成長を支援	新規企業立地数	—	3社（5カ年累計）
	③魅力ある職住近接環境の整備	オガールエリア民間事業者の立地件数	—	2件（5カ年累計）
	④移住・定住情報の整備・発信	転入者数（年間）	1,008人（2013年）	1,000人
	⑤大学・企業との交流促進	企業の森づくり取り組み団体数	9団体	10団体
	⑥子育てを社会全体で応援する環境づくり	保育施設入所待機児童数	25人（2015年）	0人
	⑦小中学校における生きる力の育成	1日2時間以上家庭学習をしている中学3年生	19%（2015年）	80%
	⑧ヒト・モノ・カネの地域内循環を生み出す地域経営を応援	新たな地域づくり活動件数	—	10件（5カ年累計）
	⑨リノベーションまちづくりの推進	リノベーション物件数	—	2件（5カ年累計）
5 策定までの特徴的な取組	有識者会議である「紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会」での検討や議会での検証のほか、各地区へ出向いての懇談会等の機会を通じて、町民や各種団体と戦略策定について意見交換を行った。			

## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町名	矢巾町	担当部局課名	企画財政課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.town.yahaba.iwate.jp/cgi-local/news.cgi?f1=1446685979&amp;f2=02">http://www.town.yahaba.iwate.jp/cgi-local/news.cgi?f1=1446685979&amp;f2=02</a>
-----	-----	--------	-------	----------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	矢巾町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン		
2 策定期間	平成27年10月  平成27年11月5日公表		
3 人口の展望	現状 2015年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	26519人	30610人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計
(2) 出生率	1.33	2.1	(
(3) 特徴	○人口3万人に向けたまちづくり 合計特殊出生率の向上及び転入促進を図る施策を早めに講ずることにより、2025年には人口3万人を超え、2060年まで3万人以上の人口規模の維持を図ることを目指します。		
(4) 展望	ビジョンへの記載なし		
4 目指すべき将来の	ビジョンへの記載なし		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定期間	平成27年10月  平成27年11月5日公表			
3 基本目標等	当町の「第7次矢巾町総合計画」及び国の「まち・ひと・しごとの創生に向けた基本目標」を踏まえつつ、「矢巾町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示す将来展望を実現するために、「まち分野」「ひと分野」「しごと分野」の3分野それぞれに基本目標を立て総合戦略を展開していく。 ○基本目標①（しごと分野）：まちの発展を支える雇用の創出 ○基本目標②（ひと分野）：家族全員が健康で笑顔がたえない家庭づくり ○基本目標③（まち分野）：自然が豊かで全世代が安心して暮らせるまち			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①岩手医科大学に関連した産業育成	岩手医科大学周辺地域における企業件数	-	5件
	②矢巾スマートICからのアクセス道路の連携強化	矢巾スマートICの利用車台数	-	完成後設定
	③地域包括ケアシステムの構築	地域包括ケアシステム構築に係る事業進捗率	-	計画策定後設定
	④教育内容の充実	全国学力テスト平均得点	教育委員会の検討	教育委員会の検討
	⑤草の根型まち・ひと・しごと創生の推進	担い手グループ設立数	-	5団体
	⑥地域公共交通ネットワークの充実	循環バス「さわやか号」利用者数	4792人	7500人
	⑦戦略的なインフラの維持管理・更新等の推進	下水道普及率（污水处理人口ベース）	95.7%	98.5%
	⑧情報インフラの整備	町ホームページアクセス件数	185266件	300000件
	⑨移住支援対策の推進	県外からの転入者数	410人	450人
	⑩新規起業の促進	新規創業支援事業の利用件数	-	20件
5 策定までの特徴的な取組	戦略の基本目標及び施策体系の構築においては、庁内ワーキンググループによる「SWOT分析」を行い、本町の強みや弱みを踏まえて戦略性を重視した。また、住民ワークショップにおいては大阪大学の協力を得て先進的な住民参加の手法である「フューチャーデザイン」を用い、2060年の視点から本町のあるべき姿を検討していただいた。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	西和賀町	担当部局課名	企画推進課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.town.nishiwaga.lg.jp/">http://www.town.nishiwaga.lg.jp/</a>
------	------	--------	-------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		西和賀町人口ビジョン	
2 策定日		平成27年10月28日	
公表日		平成27年10月28日	
3 人口の展望		現状 2014年	目標年 2040年
		準拠している推計値等	
(1) 人口	6,143人	4,400人以上	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3) 記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.35	2.07以上	
(3) 特徴	○ 国準拠+社会増減ゼロ 2019年における数値目標を①社会増減ゼロ、②合計特殊出生率2.07と定め、2020年以降についても数値目標を維持するとともに、社会増及び合計特殊出生率の向上に向けた取り組みを進めることにより、2040年に4,400人以上の人口を目指す。(社人研より1,217人増を目指す。)		
(4) 展望	人口減少に歯止めをかけるため、各産業の強化による雇用の場の確保、子育て支援、住環境整備等によるU・Iターン者の増加、おもてなし環境整備、おもてなし力強化による交流人口の拡大を図ることにより、将来にわたって活力ある地域を維持し全ての住民が安心していきいきと暮らすことができる魅力あるまちづくりが推進される。		
4 目指すべき将来の方向		5つの基本目標を定め、魅力ある地域づくりを進める。 Ⅰ.産業力強化による新たな雇用の創出(町の資源を活用し、仕事と雇用をつくる)、Ⅱ.女性が住みやすいまちづくり(結婚・出産・子育て支援による安心感をつくる)、Ⅲ.U・Iターン者の受け入れ環境整備(地域を支え、地域に支えられる人の流をつくる)、Ⅳ.町とつながる人を増やす(拡大コミュニティの形成により“まち”を広げる)、Ⅴ.広域連携による魅力ある圏域づくり(他自治体との連携により“まち”を広げる)	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	西和賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年10月28日			
公表日	平成27年10月28日			
3 基本目標等	西和賀町を守り伝える、変革をもたらす新たな“町民”を増やすことが重要であり、移住・定住人口の増加と、町と関わる交流人口の拡大に重点を置いた取り組みを進める。 I. 産業力強化による新たな雇用の創出(各産業の受け入れ態勢・体力強化、雇用の場の確保・企業支援等)、II. 女性が住みやすいまちづくり(出産・子育て支援、女性の暮らしやすさ向上等)、III. U・Iターン者の受け入れ環境整備(各種情報提供の強化、住環境の整備、集落等の受け入れ態勢支援)、IV. 町とつながる人を増やす(拡大コミュニティの構築、情報発信力の強化・充実、外部人材の受け入れ)、V. 広域連携による魅力ある圏域づくり(定住自立圏構想の推進等)			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	I. 産業力強化による新たな雇用の創出 農林業の受け入れ態勢・体力強化	集落営農組織数	7 組織	12組織
	I. 産業力強化による新たな雇用の創出 農林業の受け入れ態勢・体力強化	新規就業者数(林業)	1 人	7 人
	I. 産業力強化による新たな雇用の創出 商工業の受け入れ態勢・体力強化	誘致企業数	—	1 社
	I. 産業力強化による新たな雇用の創出 観光業の受け入れ態勢・体力強化	募集型企画旅行の参加者数	—	300人
	I. 産業力強化による新たな雇用の創出 雇用の場の確保・起業支援	新規雇用者数	19人	90人
	II. 女性が住みやすいまちづくり 出産・子育て支援	子育てサポートセンター相談件数	45件	200件
	III. U・Iターン者の受け入れ環境整備 住環境の整備	空き家データベースの活用数	—	10件
	III. U・Iターン者の受け入れ環境整備 集落等の受け入れ態勢支援	集落支援員設置数	—	8 人
	IV. 町とつながる人を増やす 拡大コミュニティの構築	合同同窓会参加者数	—	100人
	V. 広域連携による魅力ある圏域づくり 定住自立圏構想の推進	共生ビジョン実施率	—	100%
5 策定までの特徴的な取組	総合戦略推進会議、町議会、町内の商工観光・自治組織・農林業等の関係団体、労働団体、報道機関等から意見を聴取する機会を設け、総合戦略等への意見反映に努めた。			



## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	金ケ崎町	担当部局課名	総合政策課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.town.kanegasaki.iwate.jp/02torikumi/01hatten/matihitosigoto001.htm">http://www.town.kanegasaki.iwate.jp/02torikumi/01hatten/matihitosigoto001.htm</a>
------	------	--------	-------	----------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称	金ヶ崎町人口ビジョン		
2 策定日	平成28年2月29日		
公表日	平成28年3月4日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	16,325（H22国勢調査）	14,000人	■ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 □ 独自推計 （
(2) 出生率	1.65（H24）	2.07	
(3) 特徴	○国準拠＋社会動態の現在の基調を維持＋女性の社会動態の改善 合計特殊出生率を2040年に2.07に向上し、現在の社会動態を維持するとともに、女性の社会動態について、改善を図ることで、2040年の人口を14千人を確保 ※社人研推計より355人上回る		
(4) 展望	○社会動態の基調維持 ○女性の転出抑制・転入促進 ○出生率の向上		
4 目指すべき将来の方向	○若者が暮らしたいまちを創る ○女性にとって魅力的なまちを創る ○活力と特色のある地域を創る ※人口増を目指しつつ、確実に減少が予想される中期的展望として、持続可能な地域づくりを進める。		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年2月29日			
公表日	平成28年3月4日			
3 基本目標等	○若者が暮らしたいまちを創る ・安定した雇用の維持と多様な働く場の創出 他3項目 ○女性にとって魅力的なまちを創る ・女性にとって魅力的な働く場の創出 他3項目 ○活力と特色のある地域を創る ・誇りの持てる地域産業の育成 他3項目			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	人も企業もシビックプライドを育み、地元で働きたいと思える環境を創る	直近3カ年平均の社会動態	△48.7人	△33.7人
	若者の姿が見え、にぎわいや活力を感じることが出来る環境を作る。	住みよい町と思う人の割合	63.30%	70.00%
	女性が働きたい、住みたいと思える魅力的な町を創る	人口性比(20歳～39歳) 男性を100とした時の女性の割合	78.80%	80.00%
	安心して出産、子育てでできると思える魅力的なまちを創る	直近3カ年平均の出生数	120人	維持
	子どもから高齢者まで、健康で活躍できる環境整備を支援をする	就業または何らかの地域活動をしている60歳以上の割合	82.70%	85.00%
	移住、交流人口を増やす	空き家バンクを通じた空き家活用件数	1件	10件
5 策定までの特徴的な取組	県内で唯一、男性の数が女性の数を上回る自治体であり、その特徴を含めた人口ビジョンについて、様々な機会を通じて共通認識を図った。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	平泉町	担当部局課名	まちづくり推進課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.town.hiraizumi.iwate.jp/site/">http://www.town.hiraizumi.iwate.jp/site/</a>
------	-----	--------	----------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	平泉町人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月1日		
公表日	平成28年3月14日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	8,117人	5,400人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計
(2) 出生率	1.95	2.24	(
(3) 特徴	出生率を2.24に上げ、社会増減を少なくすることで、人口を減少を少なくする。独自推計よりも400人増を目指す。		
(4) 展望	○若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ○安心なくらしを守るとともに周辺地域との連携を図る ○安定した雇用を創出する ○新しい人の流れをつくる ○世界遺産を活かしたまちづくりを進める		
4 目指すべき将来の方向	○生活環境の向上による定住促進 ○世界遺産を活かした地域の活性化		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	平泉町総合戦略			
2 策定日	平成28年3月1日			
公表日	平成28年3月14日			
3 基本目標等	○若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ○安心なくらしを守るとともに周辺地域との連携を図る ○安定した雇用を創出する ○新しい人の流れをつくる ○世界遺産を活かしたまちづくりを進める			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	若い世代の出会いの場の確保	婚活イベント参加者数	40人	100人
	母親と乳幼児の健康の確保・増進	子どもの医療費助成の拡充	中学生以下	18歳以下
	総合的な防災体制の確立	防災訓練数	1回	6回
	地域医療体積の充実	町内医師数	3人	4人
	地域農業の6次産業化の推進	6次産業化による新商品の開発件数	0件	3件
	企業誘致の推進と経営力強化を進める	企業誘致数	3社	5社
	住環境を整え定住を促進する	年間新規住宅建設戸数	9戸	10戸
	地域の魅力を高め交流人口を増加させる	観光客入込数	200万人	220万人
	平泉の文化遺産の保存管理	中尊寺大池跡の発掘調査進捗率	20%	80%
	地域資源の活用によるインバウンド観光の推進	外国人観光客数	14,131人	50,000人
5 策定までの特徴的な取組	保育所の保護者会にて意見を行くなど、積極的に子育て世代の意見を反映した。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	住田町	担当部局課名	企画財政課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.town.sumita.iwate.jp/">http://www.town.sumita.iwate.jp/</a>
------	-----	--------	-------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	住田町人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月3日		
公表日	平成28年3月3日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	6190	4000	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input checked="" type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input type="checkbox"/> 独自推計
(2) 出生率	1.18 (H25)	2.07	(
(3) 特徴	○ 国準拠+社会増減ゼロ 合計特殊出生率を2040年に2.07に向上し、2020年以降に本町の社会減ゼロを継続すると、2040年には4000人程度の人口を確保 ※ 社人研推計より約769人増を目指す。		
(4) 展望	出生率が向上し、社会増減が均衡した場合、人口構造の若返りが期待できます。		
4 目指すべき将来の方向	里山で暮らし続けるため、基礎的な生活機能が保証され、住民から住みやすい・住み続けたいと思われる「住みたい町：住田」		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	住田町総合戦略			
2 策定日	平成28年3月3日			
公表日	平成28年3月3日			
3 基本目標等	将来像を実現するために次の必須の到達目標を掲げ、施策を推進します。 ①子どもの数は、小学校2校を維持することを目標に設定し、複式学級を回避するため1学年20人、2校で40人を確保。 ②生活圏内で必要な買い物等の生活・交通・医療の利便性が図られる環境整備。住民満足度50%。 ③町内にいながらできる仕事があり、その仕事で生活できる収入・賃金を確保。町民所得10%増。			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	①結婚、出産、子育ての切れ目のない支援と子育て環境の充実	出生数	28	31
	①結婚、出産、子育ての切れ目のない支援と子育て環境の充実	合計特殊出生率	1.18	1.5
	①町の魅力発信・起業しやすい支援制度の構築による移住促進	移住者数	9組30人	15組135人
	②生活圏内で必要な買い物等の生活・交通・医療の利便性が図られる環境整備	生活・交通・医療の満足度	買物6.7% 交通15% 医療7.2%	50%
	②生活圏内で必要な買い物等の生活・交通・医療の利便性が図られる環境整備	商店数	56	50
	②地域協働による地域の魅力づくり	小さな拠点での地域活動による活動展開	0	5
	③地域資源を活用した農林業の活性化と産業の創出	製造業売上高	15093百万円	16602百万円
	③地域資源を活用した農林業の活性化と産業の創出	就業支援による新たな雇用	11人/5年	25人/5年
	③地域資源を活用した農林業の活性化と産業の創出	交流人口	97183	150000
5 策定までの特徴的な取組	総合戦略推進委員会を設置し、検討を進め、中学生から50歳未満の方全員にアンケート調査の実施、ワークショップ、町民との意見交換会、パブリックコメントなどを行い住民の意見を反映させている。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	大槌町	担当部局課名	総合政策部総合政策課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/2016033100028/">http://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/2016033100028/</a>
------	-----	--------	------------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	大槌町人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月24日		
公表日	平成28年3月31日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	11,732	9,000	<input checked="" type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input type="checkbox"/> 独自推計 (
(2) 出生率	2.26(2013年)	2.06	
(3) 特徴	■町民の結婚・出産・子育ての希望実現に取り組むことで高い合計特殊出生率を維持し、2040年 まで、出生数年平均80人を目指す。 ■UIターン者数を年平均30.6人増加させる。		
(4) 展望	2040年に人口9,000人、年少人口1,200人程度を目指す。		
4 目指すべ き将来の 方向	■安心して結婚・出産・子育てができるまち ■「ふるさと・おおつち」への愛着を育み、将来に希望を抱くことのできる教育環境のまち ■帰ってきたくなる・住み続けたくなるまち ■絆に感謝し、さらなる魅力づくりを行うまち		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	大槌町 地方創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月24日			
公表日	平成28年3月31日			
3 基本目標等	■基本目標 定住人口の減少に歯止めをかけるとともに交流人口の増大を図ることで、活動人口(=定住人口+交流人口)を増やし、継続的に活力のある町を目指す。 ■4つの基本方針 ①安心して結婚・出産・子育てができるまち ②「ふるさと・おおつち」への愛着を育み、将来に希望を抱くことのできる教育環境のまち ③帰ってきたくなる・住み続けたくなるまち ④絆に感謝し、さらなる魅力づくりを行うまち			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	結婚支援プロジェクト	婚姻届受理件数	45.8	50.0
	出産・子育て支援プロジェクト	出生届受理件数	76	80
	おおつち型教育支援プロジェクト	大槌高校入学人数	79	81
	雇用・住環境の充実/UIターン促進プロジェクト	転入者数	362	392
	農林水産業活性化プロジェクト	農協組合員数等	272	272
	交流人口拡大プロジェクト	大槌ファン登録者数等	0	1,000
5 策定までの特徴的な取組				



# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	山田町	担当部局課名	企画財政課	掲載HP アドレス	<a href="http://www.town.yamada.iwate.jp/">http://www.town.yamada.iwate.jp/</a>
------	-----	--------	-------	--------------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月4日		
公表日	平成28年3月4日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	18,617人	11,200人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3) 記載のとおり。 )
(2) 出生率	1.54	1.8	
(3) 特徴	○国民希望出生率＋Ｕターン・移住人口３割増加（20～29歳） 合計特殊出生率を国民希望出生率である1.8と設定し、若い世代（20～29歳）のＵターン人口を３割増加させると仮定し、2040年の総人口を11,200人程度と試算した。 ※社人研推計より1千人増。		
(4) 展望	この「11,200人」は、少子高齢化に一定の歯止めをかけるために必要な数字であり、そのため目標となりうる意味ある数字であると考えている。		
4 目指すべき将来の方向	ある程度の人口が減り続けることを覚悟し、これを前提とした「まちづくり」を進めていくため、本町における人口減少の現状とその背景を正しく認識した上で、町を持続・発展させていくために必要な対策を着実に実施していく。		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月4日			
公表日	平成28年3月4日			
3 基本目標等	政策３原則として「自立性」「将来性」「独創性」を掲げ、また、推進３原則として「スピード感の維持」「産官学金労言の連携」「施策間の連携」を掲げる。 その上で整理された【しごとの創出】①バランスのとれた発展、②働き方・経営の改革、③観光を切り口にした産業活性化、【ひとの創出】①リーダーの育成、②若手・女性・高齢者等の活躍の場づくり、③お客様を迎えるひとづくり、【まちの創出】①安全と安心のまちづくり、②生まれ・育ち・暮らすまち、③山田町のストックをフル活用について、５つの主要戦略に取り組む。			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2020年度
	地域商社の設立準備	H28年度中に検討終了 実施可能な部分から実施	—	—
	働き方・経営の改革	〃	—	—
	UIターン・移住者受け入れ体制の整備	〃	—	—
	公募（提案）型事業の実施	〃	—	—
	「オランダ」を活用した産業開発	〃	—	—
	漁業生産基盤の復旧と資源回復	殻付きカキ生産量	3,400千粒	7,000千粒
	農林業の振興	乾シイタケ生産量	3.5 t	16 t
	観光業の振興	観光客入込数	330千人回	660千人回
	漁業後継者・新規担い手の育成・支援	新規漁業就業者	—	5人
	子どもの誕生を望む方々への支援	特定不妊治療費助成事業利用者	—	10人／年
5 策定までの特徴的な取組	産官学金労言＋一般（公募）から構成されるまちづくり委員会・審議会・分野別懇談会・中学生からの未来提言等を開催し、全町民・各種事業所・子育て世代からのアンケート調査も実施した。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	岩泉町	担当部局課名	政策推進課	掲載HP アドレス	<a href="http://www.town.iwaizumi.iwate.jp/docs/2016022000322/">http://www.town.iwaizumi.iwate.jp/docs/2016022000322/</a>
------	-----	--------	-------	--------------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名 称	岩泉町人口ビジョン		
2 策定日	平成27年11月30日		
公表日	平成27年12月4日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	10804人（2010年）	5433人（2060年）	■ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 （（3）記載のとおり。）
(2) 出生率	1.82（2010年）	2.30（2020年）	
(3) 特徴	国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」をベースに町で独自に将来人口を推計。 ●合計特殊出生率を2020年までに2.30まで上昇し、かつ移動（純移動率）が2020年以降にゼロ（均衡）で推移。⇒社人研推計より2,418人増を目指す。		
(4) 展望	同上		
4 目指すべき将来の方向	本町が目指すべき将来の方向として4つの視点を定める。 ①地域における安定した雇用を創出する。②岩泉町への新しいひとの流れをつくる。③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。④安心して活気あふれる地域をつくる。		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	岩泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年11月30日			
公表日	平成27年12月4日			
3 基本目標等	●基本目標1「地域における安定した雇用を創出する」：①産業の強化、②人材の確保・育成 ●基本目標2「岩泉町への新しいひとの流れをつくる」：①U I Jターンの促進、②観光産業の強化による交流人口の増加 ●基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」：①結婚から子育て期における継続的支援、②安心して子育てができる環境の整備 ●基本目標4「安心して活気あふれる地域をつくる」：①安心できる地域づくり、②新たな時代の地域づくり			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	産業の強化	第三セクターにおける雇用創出数	約350人を雇用	19年度までに150人を新規雇用
	同上	原乳生産量	4,623t/年	5,373t/年
	同上	木材流通量	6万m <sup>3</sup> /年	9万m <sup>3</sup> /年
	人材の確保・育成	各産業分野における人材育成数	—	19年度までに50人
	U I Jターンの促進	移住相談件数	—	80件/年
	観光産業の強化による交流人口の増加	龍泉洞入洞者数	17.8万人	25万人
	結婚から子育て期における継続的支援	結婚相談件数	42件/年	100件/年
	安心して子育てができる環境の整備	新規保育対象者受入れ者数	—	10人（16年度）
	同上	子育て応援住宅等の整備戸数	—	宅地分譲：6区画（16年度）、賃貸住宅：12棟（17年度）
	安心できる地域づくり	地域の見守り団体数	1団体	6団体
5 策定までの特徴的な取組	町議会全員協議会において町議会の意見を聴取、外部有識者による検討委員会で審議したほか、町民コメントの実施により意見集約を行った。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	田野畑村	担当部局課名	政策推進課	掲載ＨＰ アドレス	<a href="http://www.vill.tanohata.iwate.jp/docs/2016040400012/">http://www.vill.tanohata.iwate.jp/docs/2016040400012/</a>
------	------	--------	-------	--------------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名 称	田野畑村人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月4日		
公 表 日	平成28年3月31日		
3 人口の展望	現状 2015年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人 口	3661	2930	□ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 ( (3) 記載のとおり。 )
(2) 出生率	1. 69%	2. 07%	
(3) 特 徴	合計特殊出生率を2.07以上の水準で維持し、人口の1% (39人) 移住 (U・Iターン) を毎年推進することにより、2040年において3000人程度の人口を確保する ※ 社人研推計より約900人増を目指す。		
(4) 展 望	25年後 (2040年) の人口を2015年の2割減程度である3000人程度確保し、持続可能な地域社会の構築を目指す ○ 小学生126人、1学年平均20人以上を目指す ○ 生産人口が老年人口より多い状況の維持を目指す		
4 目指すべき将来の方向	○ 地域資源を活かした新たな雇用の創出 (産業振興、6次産業) ○ 地域を支えるU・Iターンの促進 (空き家バンク、支援員配置) ○ 結婚・出産・子育て環境の向上 (医療費給付、育英奨学資金貸付) ○ 地域づくり・地域コミュニティの充実 (事務局支援、地元学推進) ○ 広域圏における協力・連携の推進 (観光誘客、人材育成)		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	田野畑村まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月4日			
公表日	平成28年3月31日			
3 基本目標等	①地域資源を活かした新たな雇用の創出 ②地域を支えるU・Iターンの促進 ③結婚・出産・子育て環境の支援 ④地域づくり・地域コミュニティの充実 ⑤広域圏における協力・連携の推進			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2015年度	目標値 2019年度
	6次産業化モデル事業	新商品開発数	-	10
	観光推進体制の強化	体験型観光者数 (人/年)	9000	13000
	道の駅たのはたの機能強化 (移転リニューアル等)	道の駅たのはた利用者数 (人/年)	41000	45000
	第三セクターの経営強化	新規雇用者数 (人)	15	75
	U・Iターン受け入れ環境の整備	U・Iターン者数 (人)	20	200
	居住環境の向上	U・Iターン者用住宅整備戸数 (戸)	-	20
	田野畑村の魅力情報発信の強化	村ホームページアクセス数 (回/年)	-	425000
	出産・子育て支援策の充実	保育所・児童館入所希望者充足率 (%)	91	100
	地域づくり実践活動への支援	地域づくり実践活動数 (件/年)	10	10
	広域連携の検討	広域連携事業数 (事業)	-	3
5 策定までの特徴的な取組	各種審議会のほか、全24自治会の聞き取り調査、各世代抽出による村民アンケート、子育て世帯・中高生等に対するアンケートの実施等、広く村民の意見徴集を行い、戦略の検討を行った。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	普代村	担当部局課名	地域創生室	掲載HPアドレス	<a href="http://www.vill.fudai.iwate.jp/gyousei/jinko-gensho-taisaku">http://www.vill.fudai.iwate.jp/gyousei/jinko-gensho-taisaku</a>
------	-----	--------	-------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		普代村人口ビジョン	
2 策定日		平成27年10月29日	
公表日		平成27年10月30日	
3 人口の展望		現状 2014年	目標年 2040年
(1) 人口	2,941	2,258	準拠している推計値等  <input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 (
(2) 出生率	1.5	2.07	
(3) 特徴	○県準拠 合計特殊出生率を2040年に2.07に向上し、2025年以降を目標に本村の社会増減ゼロを継続すると、2040年には2,258人の人口を確保		
(4) 展望	人口減少に歯止めをかけ、2040年に2,258人の人口を確保する。 ○子どもから高齢者まですべての世代が生き生きと暮らす地域社会の実現 ○時代に合った産業の創造と新しい人の流れの創出		
4 目指すべき将来の方向		1 地域における安定した雇用を創出する 2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 3 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 4 地域への新しい人の流れをつくる	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年10月29日			
公表日	平成27年10月30日			
3 基本目標等	4つの施策推進目標の達成のため、17の具体的施策により総合戦略を展開していく。			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	1-1起業支援及び起業家教育の推進、1-2新たな雇用の場の創出、1-3つくり育てる産業の推進、1-4労働人口の確保、1-5専門的知識を育む環境づくりの推進	新規雇用の場の創出数	-	4箇所
		施策推進による新規雇用者数	-	50人
	2-1結婚しやすい環境づくりの推進、2-2ワーク・ライフ・バランスの推進、2-3女性にやさしい社会環境の創造、2-4子どもの夢・希望と新たな子育て生活環境の創造	出生数	22人	5年間で120人
		合計特殊出生率	1.5	1.6
		婚姻数	10組	5年間で60組
		地域活動団体（NP0等）設立数	-	5年後に1団体
	3-1地域と地域をつなぐ人材育成、3-2総合的な活動施設等の整備促進、3-3ネットワーク環境の整備と利用促進、3-4広域連携の強化促進	要介護認定者数	43人	5年後に概ね40人
		転出入者数の均衡（社会増減ゼロ）	転入55人、転出98人	5年後に概ね70人程度
	4-1地域への移住者受入体制の推進、4-2移住定住者の多様なニーズへの対応、4-3輝く地域資源の創造、4-4誘客拡大に向けた観光力強化	観光入込客数	62,053人	5年後に74,463人
5 策定までの特徴的な取組	普代村地域創生研究会、普代村地域創生・人口減少対策本部、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を中心に、住民アンケート、分野別意見交換会、村政懇談会、中学生とのワークショップによる意見聴取を行い、戦略への反映について検討を行った。			



## 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	軽米町	担当部局課名	総務課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.town.karumai.iwate.jp/gyosei/oshirase/oshirase-soumu/20150803.html">http://www.town.karumai.iwate.jp/gyosei/oshirase/oshirase-soumu/20150803.html</a>
------	-----	--------	-----	----------	---

### I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称	軽米町人口ビジョン・総合戦略		
2 策定日	平成27年10月27日		
公表日	平成27年10月27日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2019年	準拠している推計値等
(1) 人口	9,869人	9,353人	□ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 ( (3) 記載のとおり )
(2) 出生率	1.72	1.86	
(3) 特徴	・ 合計特殊出生率を、平成31 (2019) 年までに1.86、平成42 (2030) 年までに2.07を目指す。 ・ 社会減の減少と転入による社会増につながる取組を進め、平成32 (2020) 年までに社会増減の均衡 (=社会増減ゼロ) を目指す。 ※平成42 (2030) 年で社人研推計より約1千人増を目指す。		
(4) 展望	平成32 (2020) 年までに社会増減をほぼゼロにするとともに、合計特殊出生率が平成42 (2030) 年までに2.07、更に平成72 (2060) 年までに過去15年間 (平成11年～平成25年) の最高値である2.22という数字に近づけることにより、超長期的ではあるが2090年頃に人口が6,200人前後で下げ止まり、その後微増傾向に転じることを目指す。		
4 目指すべき将来の方向	(目指す姿) ○新しい産業の創出や起業等により、町内の働く場が増え、就職先の選択肢も広がっている。 ○子育て支援策の拡充により、軽米町での子育てを希望する人が近隣市町村からも移り住むような子育てしたい、住み続けたいまちになっている。 ○情報発信とイベント実施により、軽米町を知り軽米町を訪れる人が増え、新たに町に移住する人も増えている。		

### II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	軽米町人口ビジョン・総合戦略			
2 策定日	平成27年10月27日			
公表日	平成27年10月27日			
3 基本目標等	安心して暮らすことができる「ひとにやさしく活力あふれるまち」軽米町を目指した取り組みを、次の3つの基本目標を柱に総合戦略を進める。 基本目標①活力ある軽米をつくる「しごと」の創生 基本目標②全ての世代にやさしく生き生きとした「まち」軽米の創生 基本目標③「ひと」が行き交う南部の十字路・軽米の創生			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	事業所の誘致推進活動(5年間)	再生可能エネルギー発電事業数	0事業所	4事業所
	新規求職者等地域雇用促進事業(5年間)	新規求職者奨励金年間対象者数	27人	125人
	新規就農・経営継承支援の推進(5年間)	青年就農給付金受給者数	9人	12人
	子育て環境の整備(5年間)	子育て世帯年間転入数	10世帯	75世帯
	教室の開催、情報発信	子育て支援広場利用者数	610人	700人
	通学費・医療費・給食費助成等	軽米高校入学者数	58人	58人
	男女の交流機会の創出(5年間)	結婚組数	19組	125組
	検診の周知徹底と追加検診の実施	特定健診受診率	51.9%	60.0%
	インターネットによるきめ細かな情報発信	町ウェブページ閲覧数	11.1万件	13.0万件
	魅力あふれる観光イベントの開催	中心街の主要なイベント誘客数	5.6万人	7.0万人
5 策定までの特徴的な取組	・総合戦略策定委員会、議会、町民・成人者・在京者アンケート、百人委員会開催等により、広く意見を聞きながら戦略へ反映させることを基本として取り組んだ。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	野田村	担当部局課名	特定課題対策課	掲載HPアドレス	<a href="http://www.vill.noda.iwate.jp/tihousousei/425.html">http://www.vill.noda.iwate.jp/tihousousei/425.html</a>
------	-----	--------	---------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	野田村人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月18日		
公表日	平成28年3月18日		
3 人口の展望	現状 2014年	目標年 2060年	準拠している推計値等
(1) 人口	4,435人	3,740人	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3) 記載のとおり )
(2) 出生率	1.85	2.6	
(3) 特徴	○出生率2.6＋社会増減ゼロ 合計特殊出生率を2.6（村民アンケートによる理想とする子どもの数の平均値）、社会増減ゼロを目標に掲げ、推計値3,740人を確保		
(4) 展望	人口減少の下げ止まりと、地域経済循環やコミュニティ維持の観点から4,000人規模での安定を目指す。「ひとがつながるくらし 自然とつながるくらし」を村が将来ありたい姿としての基本テーマとし、取り組みを進める。		
4 目指すべき将来の方向	次の4つの方向により地域づくりを進める。 ○第一次産業をはじめとする地域性のある安定した雇用の創出 ○地域資源の活用と情報発信で地域への新しい人の流れをつくる ○魅力ある住宅、出産と育児等、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える ○時代にあった地域づくり、安心なくらし、内外コミュニティの形成による各種連携		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	野田村まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成28年3月18日			
公表日	平成28年3月18日			
3 基本目標等	以下の4つを政策の基本目標として重点プロジェクトを構成し、取り組みを進める。 ○第一次産業等、村の資源を活かしたビジネスによる雇用の創出 ○若い世代に魅力的な住宅の確保による子育て世代の定着 ○地域コミュニティを活かしたQOLの向上 ○人、情報、経済における内外コミュニティの中心となる地域拠点づくり			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	第一次産業の活性化 (生産量向上・ブランド強化・販売拠点整備・情報発信 等)	のだ塩の製造量 (kg)	6904	14000
		山ぶどうの契約出荷量 (kg)	29814	36000
		ホタテの総生産量 (トン)	106	250
	+αの魅力ある住環境の整備 (魅力的な住宅整備、既存住宅のリノベーション支援、仮設住宅の利活用)	近隣都市への流出入の差分	△16人/年	0人
		年少人口数	500人	549人
	結婚・子育てに優しい地域づくり／熱心な交流層を地域の魅力へ昇華させる取り組み	中心地区での交流施設の設置	0件	1件
		村民定住意向	28.60%	32%
	中心部の再構築・場づくり・導線づくり (商業集積、起業支援、拠点整備、既存施設の利活用、村内の回遊手段)	内外交流施設利用者数	299,991人	340,000人
		起業件数	—	5件
5 策定までの特徴的な取組	各策定委員自身による課題や魅力等の抽出とSWOT分析による戦略骨子づくり、村民アンケート、高校生アンケート、村民及び村外交流層が参加したワークショップ等、戦略づくりの作業自体を地域づくりへの参画意識醸成の手法としても用いながら策定作業を進めてきた。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	九戸村	担当部局課名	総務企画課地域振興班	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.vill.kunohe.iwate.jp/2016/03/post_211.html">http://www.vill.kunohe.iwate.jp/2016/03/post_211.html</a>
------	-----	--------	------------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		九戸村ふるさと振興ビジョン	
2 策定日		平成28年3月7日	
公表日		平成28年3月7日	
3 人口の展望		現状 2010年（出生率は2008～2009年）	目標年 2060年（出生率は2040年）  準拠している推計値等
(1) 人口	6,507人	3,530人	■ 社人研推計値 □ 岩手県準拠 ■ 独自推計 （(3)記載のとおり。）
(2) 出生率	1.5	2.07	
(3) 特徴	○ 県準拠 合計特殊出生率を2040年に2.07に向上し、2020年までに本県の社会増減を均衡させると、2060年には3,500人程度の人口を確保 ※ 社人研推計より1千人増を目指す。		
(4) 展望	人口減少に歯止めをかけ2060年に3,500人程度の人口を確保する。 ○ 人口減少と地域経済縮小の克服 ○ まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立		
4 目指すべき将来の方向		4つの柱でふるさと振興を進める。 ○ 安定した雇用を創出する。 ○ 新しいひとの流れをつくる。 ○ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。 ○ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	九戸村ふるさと振興戦略			
2 策定日	平成28年3月7日			
公表日	平成28年3月7日			
3 主な取組内容とそのKPI	○ 安定した雇用を創出する：農林業の振興、地元中小企業の振興と企業誘致、雇用対策 ○ 新しいひとの流れをつくる：移住・定住対策の促進、交流人口の拡大 ○ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる：結婚・出産・子育ての支援、学校教育・生涯学習の充実 ○ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する：安全で活力ある地域づくり、男女がともに生きる環境づくり、健康づくりの推進と福祉環境の充実、医療・救急体制の充実、地域福祉の充実、環境保全活動の推進、交通ネットワーク機能の充実、広域行政の推進			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 (基準年)	目標値 2019年度
	① 農林業の振興	新規就農者数	24人 (2015年)	30人
	② 地元中小企業の振興と企業誘致	商工会会員数	141人 (2015年)	141人
	③ 雇用対策	誘致企業地元雇用数	42人 (2015年)	55人
	④ 移住・定住対策の促進	空き家バンク登録件数	8件 (2015年)	20件
	⑤ 交流人口の拡大	道の駅「おりつめ」利用者数	481,537人 (2014年)	485,000人
	⑥ 結婚・出産・子育ての支援	出生数	35人 (2014年)	38人
	⑦ 学校教育・生涯学習・生涯スポーツ施策の充実	年間体育施設利用者数	33,016人 (2014年)	33,300人
	⑧ 地域福祉の充実	見守り員数	68人 (2015年)	70人
	⑨ 環境保全活動の推進	クリーン九戸行動日への参加者数	1,436人 (2015年)	1,500人
	⑩ 交通ネットワーク機能の充実	循環バス利用者数	11,487人 (2014年)	11,500人
5 策定までの特徴的な取組	・村の最上位の総合計画に位置付けられる「新九戸村総合発展計画」の後期基本計画の策定と並行して作業を行い、検討段階において住民アンケート、地区懇談会等の実施により住民の要望や意見を広く取りあげることに留意した。			

# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	洋野町	担当部局課名	企画課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.town.hirono.iwate.jp/docs/2016010400028/">http://www.town.hirono.iwate.jp/docs/2016010400028/</a>
------	-----	--------	-----	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目		内 容	
1 名称		洋野町人口ビジョン	
2 策定日		平成27年12月25日	
公表日		平成28年1月4日	
3 人口の展望		現状 2010年	目標年 2040年
(1) 人口		17,913	11,337
(2) 出生率		1.51	2.26
(3) 特徴		準拠している推計値等 <input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 ( (3)記載のとおり )	
(4) 展望		○移動率の仮定 15歳～34歳の移動率を低減（最大で平成22年(2010)の1/2程度と仮定）。また、35歳以上の転出・転入の均衡を図る。 ○出生率の仮定 本町の女性総数に対する出産可能な年代（15～49歳）の女性人口は、全国・県と比較しても少なく国が目指す2.07が実現しても、相対的に子供の数が伸びないことから、全国に比べて高い本町の合計特殊出生率を考慮し、平成元年代の実績値に相当する出生率を目標とした。	
4 目指すべき将来の方向		4つの目指すべき将来の方向 ○若い世代を中心として安心して働けるための産業振興と雇用の場づくり ○地域資源を生かした交流によるひとの流れづくり ○若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境づくり ○地域の特性を生かした将来にわたる安心な暮らしとネットワークづくり	

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	洋野町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
2 策定日	平成27年12月25日			
公表日	平成28年1月4日			
3 基本目標等	○雇用：第1次産業の後継者、就業者の安定と関連するまたはその他の起業化支援。広域市町村での雇用の場の確保。 ○交流：定住促進住宅及び団地の整備などによる定住施策の充実。情報発信によるU・Iターンの移住促進 ○若者支援：未婚者の出会いの場等の創出。保育料第3子以降無料化などによる子育て支援の充実。 ○地域づくり：地域文化の伝承などによる世代間交流などを推進し、郷土愛を育み地元での定住促進。			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	K P I	基準値 2014年度	目標値 2019年度
	地域資源を生かした6次産業化や農商工連携の推進	新事業創出（商品開発等）への支援件数（累計）	0件	10件
	再生可能エネルギーの導入促進	風力発電事業所誘致数（累計）	0件	1件
	久慈広域及び八戸圏域との連携による広域的な雇用確保	広域連携雇用促進補助金の交付対象者数（累計）	0人	10人
	若い世代向け住宅の確保	賃貸住宅整備事業者数（累計）	0件	2件
	町の特性を生かした体験・交流型観光の推進	体験メニューの確立件数（累計）	22件	27件
	都市部への情報発信による認知度の向上	ふるさと応援寄付件数	17件	150件
	未婚者のニーズに合った出会い・交流の場の創出	出会い支援センター登録者数（累計）	0人	50人
	地域に根ざした特徴ある学校教育の充実	海洋教育事業実施校数	1校	10校
	地域コミュニティ活動の支援	みんなのまちづくり支援事業の新規実施団体数（累計）	35団体	45団体
	地域防災学習の場の推進	防災・減災の教育を通じた町の魅力学習習得者数（累計）	0人	120人
5 策定までの特徴的な取組	アンケート実施。（町民アンケート、中学生・高校生アンケート、転入・転出者アンケート） まちづくり座談会の実施。（ワークショップ）			



# 地方人口ビジョン、地方版総合戦略の概要

市町村名	一戸町	担当部局課名	総務部まちづくり課	掲載ＨＰアドレス	<a href="http://www.town.ichinohe.iwate.jp/01_header/04_gyousei/index.htm">http://www.town.ichinohe.iwate.jp/01_header/04_gyousei/index.htm</a>
------	-----	--------	-----------	----------	---

## I 地方人口ビジョン

項 目	内 容		
1 名称	一戸町人口ビジョン		
2 策定日	平成28年3月2日		
公表日	平成28年3月2日		
3 人口の展望	現状 2010年	目標年 2040年	準拠している推計値等
(1) 人口	14,187	9,000	<input type="checkbox"/> 社人研推計値 <input type="checkbox"/> 岩手県準拠 <input checked="" type="checkbox"/> 独自推計 (
(2) 出生率	1.47	1.84	
(3) 特徴	○ 社人研推計値＋社会増減ゼロ 平成27年（2015年）は1.47、平成32年（2020年）は1.50、平成37年（2025年）は1.53、平成42年（2030）は1.69、平成47年（2040）は1.84とし、その後一定とする。今後10年かけて社会移動を半減し、平成37年（2025年）以降は社会移動の差をゼロとする。		
(4) 展望	○若年層や町外の方の就労・定住・移住に関する希望に応じ、より充足感を感じることが できる仕事との出会いを作りながら、新たな産業の芽を探りつつ、一戸への新たな流れの創出 を目指します。 ○結婚や出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、 若い世代の就労、出会い、結婚、妊娠・出産、子育てに関する願いや想いに応え、良いイ メージをもって家庭をもつことができるよう取り組みます。 ○一戸に住みたい、働きたい、帰りたいという人々の願いに応えられる地域資源や活力が豊 かなふるさと一戸をつくりあげます。さらに豊かな教育による地域の魅力化から未婚率低下 と出生率向上を目指し、地域の魅力化につなげます。		
4 目指すべき将来の 方向	【一戸町が目指す3つの町の姿】 しごと→産業を軸として生業を創出し、多様な人材が活躍できる「誰もが主役の町」 ひと→子育て支援から教育へ 子どもの可能性を引き出し「未来へつなぐ魅力的な教育の町」 まち→再生可能エネルギーが循環し、自然とともに暮らす「『縄文の心』が息づく町」		

## II 地方版総合戦略

項 目	内 容			
1 名称	一戸町総合戦略			
2 策定日	平成28年3月2日			
公表日	平成28年3月2日			
3 基本目標等	①やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を産み出し、一戸への新たな流れの創出を目指す。 ②社会全体で子育てを支援し、未婚率低下と出生率の向上を目指し、豊かな教育による地域の魅力化につなげる。 ③医療・福祉やコミュニティ、再生可能エネルギーなど地域資源と活力が豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力向上を目指す。			
4 主な取組内容とそのKPI	主な取組内容	KPI	基準値 2014年度	目標値 2019年度
①やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を産み出し、一戸への新たな流れの創出を目指す。	就業者数（全産業）		5,162人	5,162人
	年間転入者数		296人	350人
	観光客数		541,865人	600,000人
	20～30代の未婚率		57.90%	55.00%
	婚姻数		47件	60件
	合計特殊出生率		1.47	1.5
	出生数		70件	80件
	③医療・福祉やコミュニティ、再生可能エネルギーなど地域資源や活力が豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力の向上を目指す。	一戸町に住み続けたいと考える町民の割合	—%	80.00%
		・年間転出者数	375人	365人
5 策定までの特徴的な取組	産官金学言による推進委員会、役場職員と民間委員によるワーキンググループでの協議、若年層を中心とした町民アンケート、若手役場職員によるワーキンググループやタウンミーティング、さまざまな町民団体との意見交換会を行い、戦略等への意見反映を行い、直営で策定を行いました。			